

## 第1章 福祉相談室 総務課

### 第1節 31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進

災害時の医療体制の整備のため、管内災害拠点病院との連携を図ります。

また、災害直後から災害用医薬品等の供給が速やかに行われるよう、災害拠点薬局等の協力を得て、医薬救護活動に必要な医薬品等の調達、分配を行います。

#### 1 災害拠点病院（三重県地域防災計画の指定による）

名称	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
伊勢赤十字病院	516-8512	伊勢市船江1丁目471-2	0596-28-2171	0596-28-2965
県立志摩病院	517-0501	志摩市阿児町鵜方1257	0599-43-0501	0599-43-2507

#### 2 災害救助法による備蓄資材 毛布1,000枚

#### 3 日本赤十字社三重県支部からの災害救援物資

毛布	86枚
緊急セット	60個

#### 4 災害拠点薬局（災害拠点薬局等指定要領による）

名称	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
伊勢度会調剤薬局	516-0014	伊勢市楠部町3039	0596-26-2131	0596-20-2030
志摩センター薬局	517-0501	志摩市阿児町鵜方262-1	0599-46-0777	0599-46-0888

## 第2節 33101 健康づくり活動の推進

地域住民に密着した総合的な保健サービスを提供するために、市町と十分な連携をとり、また専門的・技術的支援を行うことで、市町と一体的な地域保健活動の推進を図ります。

### 1 市町訪問の実施

- 議題 (1) 健康づくりについて  
 (2) 市町支援について  
 (3) 市町における保健活動の状況について  
 (4) その他

訪問日	市 町	伊勢保健福祉事務所
平成23年 7月26日(火)	度会町 係長(事務職) 主任(保健師)	課長(保健師) 歯科医師 保健師
平成23年 7月26日(火)	鳥羽市 係長(保健師) 栄養士	課長(保健師) 保健師
平成23年 7月27日(水)	伊勢市 課長(保健師) 課長補佐(保健師) グループ長(保健師)2名	課長(保健師) 歯科医師 保健師 2名
平成23年 8月2日(火)	志摩市 課長(保健師) 課長補佐(事務職) 係長(事務職) 2名	課長(保健師) 歯科医師 保健師 2名
平成23年 8月2日(火)	玉城町 課長(事務職) 係長(管理栄養士) 保健師 2名	課長(保健師) 歯科医師 保健師 2名
平成23年 8月4日(木)	大紀町 係長(保健師) 保健師 2名	課長(保健師) 歯科医師 保健師 2名
平成23年 8月9日(火)	南伊勢町 課長(事務職) 係長(保健師) 保健師 5名 管理栄養士 2名	課長(保健師) 歯科医師 保健師 2名

## 2 技術的支援

- (1) 保健師勉強会 1 1 回
- (2) 玉城町健康しあわせ委員会 3 回
- (3) 志摩市職員研修 1 回

## 3 保健師、管理栄養士・栄養士の状況

平成24年4月1日現在

市町名等	保健師数	管理栄養士・栄養士数
伊勢保健福祉事務所	9	3
伊勢市	30	2
鳥羽市	6	1
志摩市	20	2
玉城町	5	1
度会町	4	1
大紀町	6	2
南伊勢町	6	1
総計	86	13

### 第3節 33301 地域福祉活動の推進

#### 33302 ユニバーサルデザインのまちづくりの総合啓発

住民の身近なところでの相談・支援を行うため、民生・児童委員の適正な配置と、民生・児童委員協議会活動を支援します。

ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるため、市町での普及啓発に関する取組を支援するとともに、業務におけるユニバーサルデザインへの配慮に率先して取り組みます。

#### 1 民生・児童委員活動への支援

住民の最も身近なところで相談活動を展開している民生委員活動の活性化を図るため、組織活動への支援を行いました。

#### 2 ユニバーサルデザインのまちづくり

##### (1) 「平成22年度三重県ユニバーサルデザインのまちづくり賞」展示

三重県がユニバーサルデザインのまちづくりの普及啓発を目的に募集したアイデア・ポスター・取組の中で、優れた作品等の展示を行いました。

展示期間：平成23年10月11日（火）～10月14日（金）

場 所：三重県伊勢庁舎玄関ロビー

##### (2) 「高齢者疑似体験セット」貸出

視覚・聴覚・五十肩等加齢にともなう身体的な変化を疑似体験することで、高齢者の気持ちや介助者の役割等を理解することができる「高齢者疑似体験セット」をユニバーサルデザインの研修・講座の機会に貸し出しを行っています。（大人用6セット、子供用3セット）

セット内容：ゴーグル・イヤーマフ・ベルト

第4節 33305 福祉分野の人材確保・養成、34107 医療分野の人材確保

- ・医師法第16条の2第1項に基づく医師臨床研修を協力施設として受け入れ、医師の養成を行います。
- ・将来、保健・医療・福祉を担う職をめざす学生の実習を受け入れ、専門職としての養成への協力を行います。
- ・県民の要望に応えられる資質の高い保健福祉職員を養成することを目的に、今日的課題に即応した実務者研修会を実施します。
- ・医療分野の人材確保を図ります。

1 医師法第16条の2第1項に基づいた医師臨床研修の受入

臨床研修病院	日 程	研 修 期 間	受入医師数
山田赤十字病院	9月5日(月)～9月9日(金)	5日間	1人
	10月31日(月)～11月4日(金)	4日間	1人

2 実習生指導

種 別	学 校 名	人 員	グループ数	実習日数
看護学生	三重大学医学部看護学科	6	1	10
〃	三重県立看護大学	4	1	8
管理栄養士学生	鈴鹿医療科学大学	5	1	5
	名古屋学芸大学	2	1	6
〃	名古屋経済大学	1		
〃	東海学園大学	1		
〃	椋山女学園大学	1		
介護員養成研修 1級課程	三重県立明野高等学校	20	1	1

3 講義先

- (1) 三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科
- (2) 伊勢市医師会准看護学校
- (3) 伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科

#### 4 地域保健関係者研修

##### ○地域保健向上連絡会議（研修）

実施年月日	内 容	参加人数
平成23年 4月19日(火)	① テーマ「東日本大震災の派遣活動報告について」 話題提供者 伊勢保健福祉事務所 保健師・歯科医師等 ② 座談会	29人
平成23年 5月24日(火)	① 講義「低出生体重児の医療の現状と課題」 講師 山田赤十字病院 小児科副部長 梨田裕志 氏 ② 質疑応答・意見交換	19人
平成23年 6月27日(月)	① 母子保健担当者意見交換会 講師 健康福祉部こども家庭室 母子保健グループ 前山副参事兼副室長・山本主幹	16人
平成23年 11月14日(月)	① 相談記録について（講義及び演習） 講師 こころの健康センター 専門監兼課長 橋本晴美 氏	8人
平成23年 11月9日(水) (9月予定が台風のため延期された)	代表保健師会 ① 放射線の話 講師 伊勢保健福祉事務所 総務課 渡辺裕伸 主査 ② 各市町における保健活動の現状と課題について(情報交換)	15人
平成23年 12月8日(木)	① 乳幼児訪問看護の現状と課題 講師 山田赤十字病院 訪問看護ステーション 看護師長 森田 周子 氏	13人
平成24年 2月20日(月)	①各市町における特定健診・保健指導の現状と課題について 助言者 三重県国民健康保険団体連合会 保健師 明石 悦子 氏・的屋 洋子 氏	12人

○ 所内保健福祉職員研修会の実施 3回

○ 新規採用職員職場教育の実施 5回

## 5 免許の申請、書換え交付状況

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日 (件)

免許種別	新規申請	書き換え	再交付	計
医師	9	1	0	10
歯科医師	2	0	0	2
保健師	22	9	0	31
助産師	2	3	0	5
看護師	70	78	8	156
准看護師	29	17	10	56
歯科技工士	0	1	0	1
臨床検査技師	5	4	1	10
衛生検査技師	0	1	0	1
診療放射線技師	11	2	0	13
理学療法士	19	1	0	20
作業療法士	4	1	0	5
薬剤師	3	8	1	12
管理栄養士	12	4	0	16
栄養士	30	15	5	50
合計	218	145	25	388

第5節 34101 患者本位の医療の推進、  
34103 救急・へき地医療体制の整備

医療施設の立入検査を行い医療環境の整備を図るとともに、日常の健康管理や適切な初期治療などを身近なところで提供する「かかりつけ医」の推進を図ります。

休日、夜間における救急医療の情報や、県民一人ひとりが自ら医療機関を選択できるよう県民に対する情報提供を進めます。

1 医療施設

(1) 市町別医療施設数

平成24年4月1日現在

区分 市 町	病 院	診 療 所	歯科診療所	歯科技工所	助産所	施術所	総 計
伊勢市	4	128(1)	80(2)	27	3	79	321(3)
鳥羽市	0	22	7	2	0	20	51
志摩市	3	48	30	8	1	40	130
玉城町	1	11	7	5	0	7	31
度会町	0	6	3	2	0	2	13
大紀町	0	12	4(1)	0	0	3	19(1)
南伊勢町	1	8(2)	6	0	0	11	26(2)
総 数	9	235(3)	137(3)	44	4	162	591(6)

注1：( )内は休止施設数(再掲)

注2：施術所数の減少は、実際には明らかに活動を行っていない施術所の現地確認、及び開設者に確認を行い職権により廃止処理を実施したため。

## (2) 医療機関別開始廃止状況

平成23年4月2日～平成24年4月1日

区 分	開設許可件数	開設届件数	廃止届件数
病 院	1	1	1
診 療 所	6	8	5
歯 科 診 療 所	1	3	3
助 産 所	0	0	0
施 術 所	0	12	99
歯 科 技 工 所	0	2	1
総 数	8	26	109

注：施術所数の廃止には、実際には明らかに活動を行っていない施術所の現地確認、及び開設者に確認を行い職権により廃止処理を実施したものを含むため大幅な増加となっている。

## (3) 市町別病床種別病床数（病院・有床診療所）

平成24年4月1日現在

市町名 \ 区分	全病床	一般 病床	療養 病床	精神 病床	感染症 病床
伊 勢 市	1,578	1,278	296	0	4
鳥 羽 市	11	11	0	0	0
志 摩 市	508	338	70	100	0
玉 城 町	69	39	30	0	0
度 会 町	0	0	0	0	0
大 紀 町	19	19	0	0	0
南伊勢町	91	48	43	0	0
総 数	2,276	1,733	439	100	4

## (4) 病院別使用許可病床数

平成24年4月1日現在

病院名	区分	全病床	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床
医療法人全心会 伊勢慶友病院		253	40	213	0	0
市立伊勢総合病院		322	285	37	0	0
玉城町国民健康保険玉城病院		50	20	30	0	0
町立南伊勢病院		76	33	43	0	0
伊勢赤十字病院		655	651	0	0	4
田中病院		93	93	0	0	0
豊和病院		60	30	30	0	0
国民健康保険志摩市民病院		90	50	40	0	0
三重県立志摩病院		350	250	0	100	0
総数		1,949	1,452	393	100	4

## (5) 管内医療従事者数

平成22年12月31日現在

区分 市町名	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
伊勢市	2,683	344	110	223	44	24	1,193	537	162	46
鳥羽市	155	22	10	15	6	0	28	57	12	5
志摩市	752	82	32	60	23	2	274	212	51	16
玉城町	179	15	7	27	6	0	57	51	6	10
度会町	46	4	3	3	4	0	10	13	8	1
大紀町	77	10	3	5	6	0	27	22	3	1
南伊勢町	138	8	8	15	6	0	44	44	13	0
総数	4,030	485	173	348	95	26	1,633	936	255	79

## 2 立入検査

立入検査は、医療法第25条第1項に基づき実施しています。

伊勢保健福祉事務所は、当該管内以外に松阪保健福祉事務所管内の病院並びに診療所も対象医療機関です。また、立入検査実施数は、「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査実施要領」により病院は毎年、診療所は5年で一巡（実施率20%以上）することとなっています。

## ○立入検査の実施状況

平成23年4月1日～平成24年3月31日

		対象医療機関数			立入検査 実施数(b)	実施率 (b)／(a)
		伊勢	松阪	計(a)		
病院		9	14	23	23	100.0
診療所	医科	229	182	411	89	21.7
	歯科	133	99	232	49	21.1
	計	362	281	643	138	21.5
合計		371	295	666	132	-

### 3 地域医療体制

#### (1) 救急医療対策

##### ア 一次救急医療体制の充実

一次救急医療体制としては、伊勢市休日夜間応急診療所、鳥羽市休日夜間応急診療所及び一部の診療科において在宅当番医制で対応しています。

志摩市においても志摩医師会の協力のもと、平成20年10月1日から三重県志摩庁舎に志摩市休日夜間応急診療所が開設されています。

南伊勢町において共同で24時間体制の一次救急を担っている町立南伊勢病院、南島メディカルセンターは、深刻な医師・看護師不足から救急医療の受入れ体制維持が大変厳しい状況下にあります。

町立南伊勢病院では、苦肉の策として町立の地域診療所を休止し医師を町立南伊勢病院に集約する体制や入院患者の受け入れを制限する措置をとらざるを得ない状況となっています。

一方、三重県厚生農業協同組合連合会南島病院が再編され、新たに平成20年11月1日から三重県厚生農業協同組合連合会南島メディカルセンターとして新たに発足しましたが、耐震性や津波被害の問題、医師・看護師等の不足などから診療科目の縮小・休診等、救急体制を組む上でも危機的状態にありました。しかし同センターは、過疎化・高齢化が顕著な旧南島町地区でも唯一の拠点応急診療所（救急告示診療所）として、今後も体制確保が重要なことから、耐震化や医療設備充実、医療機関・老人保健施設・在宅介護支援事業所の一体化による救急医療から在宅福祉支援の地域の中核拠点を目指して、新たに南伊勢町が中心となって公設民営による「南島メディカルセンター」として平成24年3月1日に新築移転しました。

##### イ 二次救急医療体制の充実

伊勢地域では伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院の2病院が輪番制により対応しています。

また、志摩地域では県立志摩病院1施設で重症患者に対応しています。

##### ウ 三次救急医療体制の充実

昭和60年3月30日、三重県で初となる救命救急センターが現伊勢赤十字病院の前身の山田赤十字病院に設置されました。同病院は、三重県南部唯一の「三次救急医療機関」、「地域医療支援病院」及び「へき地医療拠点病院」等の県南部の基幹病院として高度救急医療や耐震化等への対応能力を高めるため、平成24年1月1日に新築移転し「伊勢赤十字病院」としてスタートしました。

また平成24年2月1日から運用開始された「三重県ドクターヘリ」の基地病院として、三重大学医学部附属病院とともに伊勢赤十字病院が指定され、2か月毎に三重大学医学部附属病院と伊勢赤十字病院の間で交互に運航分担されています。過疎地の地域医療の担い手不足等が深刻化するなかで、今後、県内遠隔地や専門医師診断等が必要な重篤な傷病者の救急医療体制への対応力強化が期待されています。

また大規模な地震・津波被害が予想される三重県南部地域における「災害拠点病院」及び「DMAT指定医療機関」としての機能向上も期待されています。

## (2) 志摩地域の医療体制

志摩地域の医療提供体制については、二次救急医療機関である県立志摩病院のほか、平成16年10月に志摩5町が合併し志摩市が誕生したのち、志摩市立病院（前島病院と大王病院）の中核病院としての機能強化と機能分担を図るため、平成20年4月に両病院を再編し、大王病院を国民健康保険志摩市民病院とし入院や救急医療等の機能を強化を図る一方、前島病院は無床の市立前島診療所となりました。

また、この地域の二次救急拠点である県立志摩病院の外来棟の整備については平成18年に着工し平成19年9月に完了しましたが、内科系の救急外来については急激な医師数の減少から、平成21年3月から365日24時間の救急体制を段階的に縮小し、平成22年7月からは2週間に1回の金・土曜日に、また外科系の救急外来についても火・水曜日を除く週5日体制に縮小せざるを得ない状況となりました。

県では県立病院改革の一環として県立志摩病院の立て直しのため、平成22年11月1日、公益財団法人地域医療振興協会を指定管理者に選定し、平成24年4月から指定管理者による運営のもと、救急医療の体制強化や夜間、休日等の対応能力の向上を目指し体制整備を図っているところです。

## (3) 三地域メディカルコントロール協議会

目的：病院前救護において、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質の向上や、三重県傷病者の搬送及び受入れの実施基準の運用体制について地域の実情に即した体制の整備を確保する。

### ア 関係機関

- ・伊勢地区医師会      ・志摩医師会
- ・伊勢赤十字病院      ・市立伊勢総合病院      ・県立志摩病院
- ・伊勢市消防本部      ・鳥羽市消防本部      ・志摩広域消防組合消防本部

イ 検証医師 10名（上記2医師会3病院の医師）

### ウ 会議等開催状況

- ・協議会 1回

日時：平成24年2月17日（金）三地域救急医療連絡協議会終了後

会場：伊勢地区医師会館2階「講堂」

議題：平成23年度における救急、事後検証、及救急救命士再教育の状況

ガイドライン2010を受けての「三重県病院前救護プロトコル」等の改定等に伴う新「三地域病院前救護プロトコル」策定部会」の設置について

- ・新「三地域病院前救護プロトコル」策定部会 1回

日時：平成24年2月17日（金）三地域救急医療連絡協議会終了後

会場：伊勢地区医師会館2階「講堂」

議題：平成23年度における救急、事後検証、及救急救命士再教育の状況

- ・事後検証会 12回

毎月1回開催（日時：第4木曜日19時～、場所：三重県伊勢庁舎第3会議室）

事後検証会検証症例619件 内訳①心肺停止状態症例267件

②脳卒中病院目救護プロトコル302件

③重症外傷病院前救護50件